

菌根菌による二次代謝物の生成

一次代謝物

• 植物の生育に直接関係する有機化合物

NATURE

Secondary metabolites

植物の生育に直接的には関与しないが、重要な有機化合物



- テルペノイド
- フェノール
- アルカロイド
- 硫黄化合物



これらのファイトケミカルには、抗菌活性、誘因、又は忌避成分がある。



二次代謝物生成によるトマトの胴枯れ病への影響

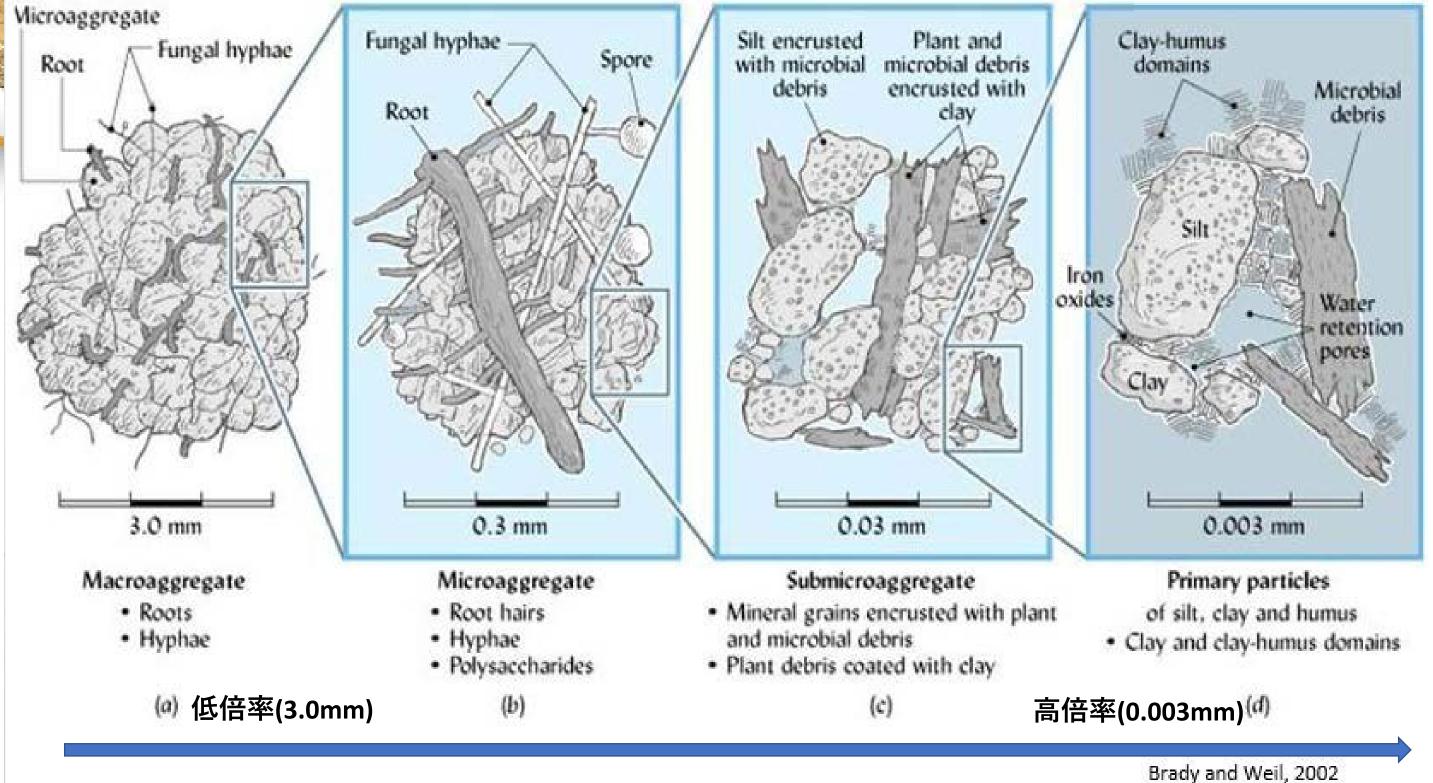




菌根菌による、土質の改善や 流亡抑制効果と科学的な土作り

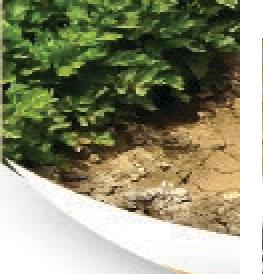


科学的な土作りとは、物理的な手法と微生物的な手法により、 土壌の生物的機能を改善すること。

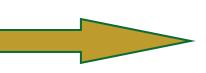


科学的な土作りによる、耕起頻度の削減、腐植の増加、土壌微生物や植物の 生育環境の改善









土壌の劣化





土壌流亡

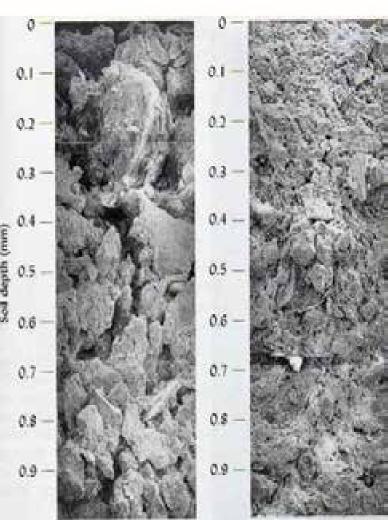
氾濫誘因

土壌被覆

腐植の減少 土壌構成物の棄損 脆弱な土壌 分散性土の増加

発生する 課題







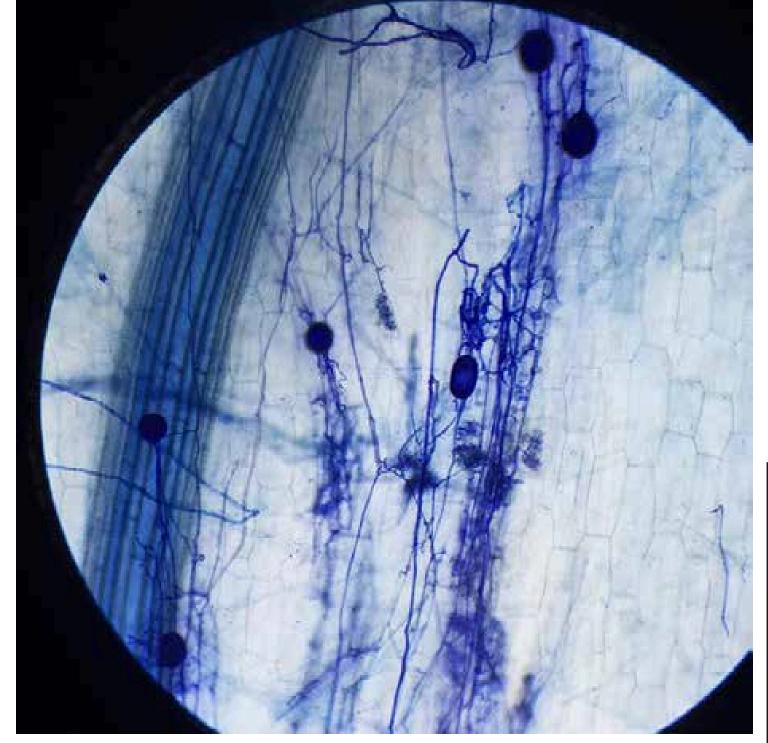
菌根菌が土壌構造の安定化で果たす 役割





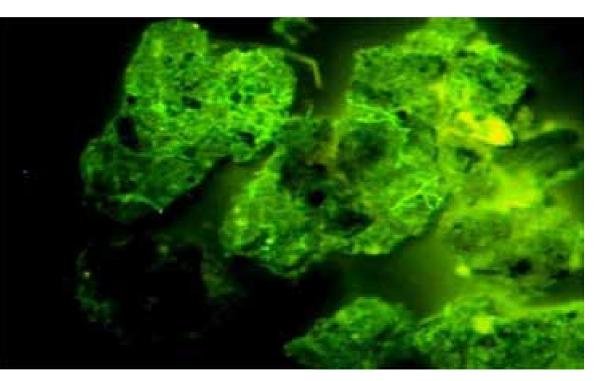


グロマリンとその役割



Glomalin(グロマリン)とは、菌根菌の菌糸タンパクを主原料とする、土壌団粒化の主要構成物質である。グロマリンは、土壌全炭素の13%もの炭素を含み、これは、腐植酸の炭素量の9倍にも相当する。

また、土壌全窒素の7%もの窒素を 含み、腐植酸の1%より遥かに多く の窒素を含有している。

















カリフォルニア州のオーガニックワイナリー

緑肥との混用による、 効果的な土作りの実例





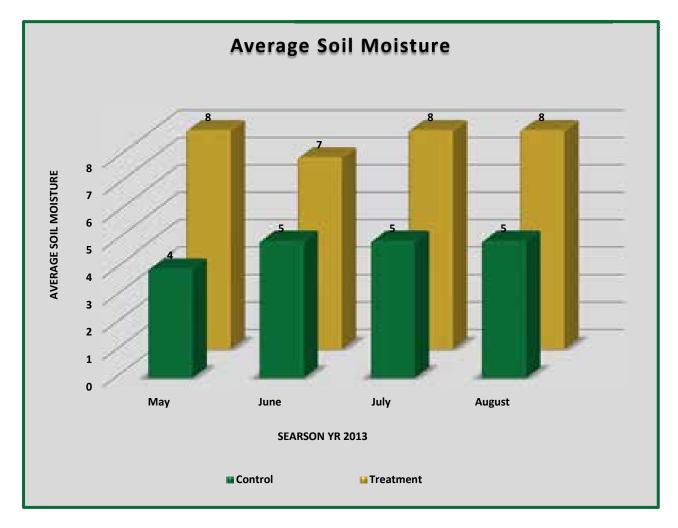
サリナスバレーでのイチゴ実証試験

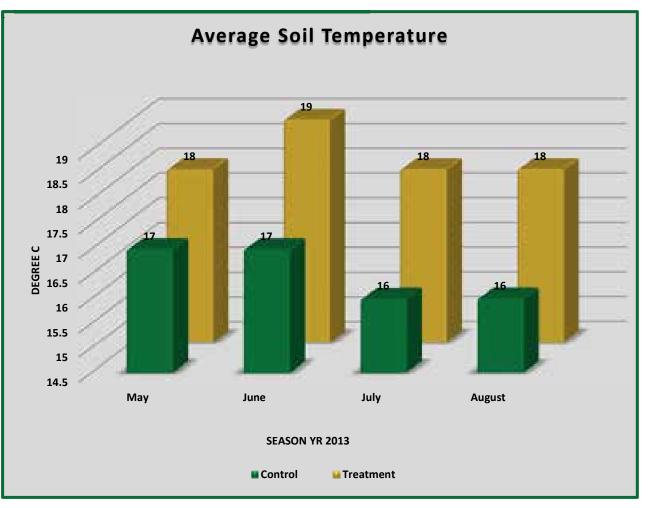
A special thank you to:

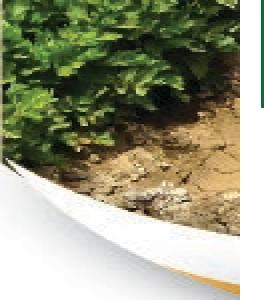
Fresalva Berry Farms
Alejandro Ramirez Berry Farms
Mendoza Farms
Bucio Organic Farms
Larse Farms
H&K Farms



2013年度の菌根菌による土壌環境評価土壌保湿度(左)と地温(右)







まとめ

- 菌根菌の感染は、特定の作物に特異ではない。
- 菌根菌は、地球上の85%の差 植物に共生する。
- 菌根菌の果たす重要な役割:
- ✓ 養分吸収の最適化
- ✓ 土作りの基礎形成
- ✓ 植物の免疫力強化
- 実証の総括として、再生農業の実用化において、非常に有益な結果を得ることが出来た。

